

# 安心院地域ふれあい文化祭に多数出展



尾立・田口憲司さんの菊

←油絵教室の皆さんの力作  
他に編物教室の皆さんも出展



北部・尾立・中央・西部の各老人クラブのみなさんも多種多様な作品を出してくれました。↓ →



津房西部老人クラブ

長年、「ふれあい文化祭」の実行に携わってくださっている永田知徳先生が、会場の大横断幕を作成して下さったことは、644号(6月発行)でお知らせしましたが、今回の文化祭でも展示案内や看板を書いて下さいました。ありがとうございました。

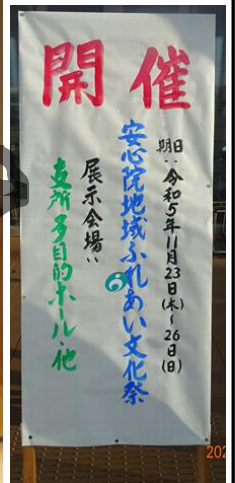
## 津房地区公民館便り

編集・発行  
津房地区公民館

電話番号  
48-2001



六郎丸の森 昭さんも個人で来年の干支(龍)の置物(焼き物)を出展してくれました



**遺族会役員会(十二月十一日(月))**  
懸案となっていた板場にある戦没者慰霊碑の清掃(除草)活動の今後について報告します。  
津房まちづくり協議会の環境整備活動の一環として「慰霊碑」の清掃活動に協力してもらえることがなりました。  
遺族会の方も高齢化で草刈り機は扱えないが、慰霊碑のコケ落としなどできることをすることになりました。

年の瀬を迎え、公民館に対してご寄付(香典返し)をいただいた皆様に御礼申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。  
・五郎丸 佐藤淳様  
・(ご母堂 美代子様ご逝去)  
・榎本 永田知徳様  
・(ご母堂 智恵子様ご逝去)  
・尾立 宮川勝江様  
・(ご主人 征一様ご逝去)  
謹んで哀悼の意を表すとともに、ご遺族の皆様にも幸多きことを願います。

# 御礼

# ありがとう！

今年も、津房小学校4・5年生（担任：豊永先生）が、ビオラとナデシコを寄せ植えしたプランター五個を持ってきてくれました。

今回のプランターの土には、地球未来科で権現水の現地視察をした際に、小田の池田静雄さんからもらったパーライトが混ぜられていました。

## 【権現水とパーライト】

権現水の水源付近には、たくさんの黒曜石があり、それを焼成して、つくられた土壌改良剤がパーライトです。

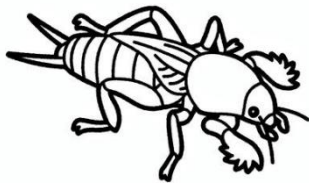


## ♪ ミミズだって オケラだって アメンボだって ♪

津房まちづくり協議会から60本のビオラとパンジーの苗をいただき、公民館西側の花壇に植えました。水はけが悪いので時々移植ごてで「中耕」しているのですが…



先日、土の中からオケラ（正式な名称はが『ケラ』）が出てきました（多分、冬眠の邪魔をしたのでしょうか…）↑



←写真では見にくいので、イラストがネットにあったので載せておきます。

私が幼いころは、土を掘るとよく出てきていたのですが、最近はほとんど見かけなくなりました。土の中を掘り進む、飛ぶ、水に溺れない、何でも食べる、ハイスpekな昆虫なのに、生きづらい環境になったのでしょうか？

私が生まれた1962年にNHK「みんなのうた」で初めて「手のひらを太陽に」が放送されたそうですが、

ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 歌うんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているから かなしいんだ  
手のひらを太陽に すかしてみれば  
まっかに流れる ぼくの血潮(ちしお)  
ミミズだって オケラだって  
アメンボだって  
みんな みんな生きているんだ  
友だちなんだ

歌詞の作者は「それいけ!アンパンマン」の作者のやなせたかしさん。この歌を知らない人はいないでしょう。

この歌の1番の歌詞に「オケラ」が出てきます。ロズさんでみてください。(左枠が歌詞)

2022年2月にロシアがウクライナへの侵攻を始めました。2023年(今年)の10月からはイスラエルがパレスチナ自治区への侵攻を始めました。ロケット弾やミサイルが行きかう下には、赤い血の流れる人間がいるわけで、壊れたビルや住居の下や近くには赤い血を流しているけが人や死んだ人々がいるわけで…。

戦争のリアリティーは「体外に流れてた血液」でしかなく、武器ではない。生きている証は体内に流れる血液=血潮なのだと、オケラと「歌詞」から思いました。

やなせたかしさんの「それいけ!アンパンマン」の登場人物は誰も死にません。この「歌詞」にも、「生き(てい)る」ことを大事にした作者の思いがあるのだろうと勝手に想像しました。さて、今年もあとわずかで辰年を迎えますが、龍の逆鱗に触れることなく、平穏な一年でありますことを祈念いたします。(ケラについてはネットで検索して調べてね！)